

聖市でワークショップ開催

日本で指圧学んだヌーリートさん

日本を代表する舞踏家、大野一雄氏のもとで舞踏を学び、画家・写真家でもあるフランス人、ヌーリー



ヌーリートさん

ト・マツソン・セキネさんがこのほど来伯。滞在中は舞踏に関するイベントや個展のほか「指圧・気功」のワークショップを行う。ヌーリートさんは、九八年から九〇年まで日本に滞在。その時に「漢法・赤ひげ堂」で「陰指圧」を学んだ。〇二年にシユトラス

ブルグで指圧・気功アカデミー「Tchic」を設立。現在も同校で教えている。

「陰指圧」とは、東洋医学的な診断と、気功診断にもとづいておこなわれる独特なもの。

ワークショップ（英語、ポルトガル語通訳）の期間は二日間で、費用は二百二十レアル。十二、十三日と十四、十五日にエスパツ7 (Rua Antonia de Queiroz, 74) で、十八、十

七日にブラジル太極拳協会 (Rua Jose V. Lisboa, 612) で行う。時間はいずれも午前十時から午後二時。

ヌーリートさんは「気功や指圧を学ぶと手のひらが敏感になる。自分の力はどこにあるのか、正しい姿勢が二日間で見えてくる」と話している。

◎

ヌーリートさんは滞在中、九、十六日に国際交流基金「階文化スペース」で舞踏に関するビデオ上映・討論会（午後七時半から、予約順）を実施するほか、ヘブライカのアルトゥール・ルービンシュタイン劇場 (Rua Ilmeria, 1000) で個展「O Cen Estil Em Toda Parte 2」を開く（九月十二日まで、イナウグラソンは五日止年）。